



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東  
 コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 岩田 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員CFO (氏名) 赤澤 洋樹 TEL 06(4795)7500  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	2,710	11.5	261	△6.2	269	△4.7	158	△3.3
2022年9月期第3四半期	2,431	11.0	278	△0.2	283	1.5	163	△10.0

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 173百万円 (△7.2%) 2022年9月期第3四半期 186百万円 (△0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	25.25	25.24
2022年9月期第3四半期	26.16	26.14

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	3,104	1,947	61.4
2022年9月期	3,103	1,804	57.1

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 1,905百万円 2022年9月期 1,773百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期（予想）				7.40	7.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	8.0	280	△28.7	280	△30.0	170	△28.0	27.09
	～3,700	～11.0	～330	～△16.0	～330	～△17.5	～200	～△15.3	～31.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	6,372,415株	2022年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	89,780株	2022年9月期	111,580株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	6,272,879株	2022年9月期3Q	6,262,442株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展や経済活動の改善により、足元の景況感については改善がみられましたが、急速な金融引き締め等による景気後退懸念が高まっていることから、依然として国内外における経済先行きは不透明な状態が続いております。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場については、社会のデジタル化を背景に2022年のインターネット広告費は前年比114.1%の3兆912億円（株式会社電通「2022年日本の広告費」）と継続的に高い成長率を維持しており、総広告費に占める割合も43.5%まで拡大しております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場については、2021年国内BtoC-EC市場規模は前年比107.4%の20.7兆円となりました。分野別では、物販系分野に関して前年比108.6%と伸長しており、物販系分野におけるEC化率についてもBtoC-ECで8.8%（前年比0.7ポイント増）と伸長しております。BtoB-EC市場におけるEC化も35.6%（前年比2.1ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和3年度電子商取引に関する市場調査報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、前期中の新連結子会社による業績貢献が期首から発生することから増収となりましたが、利益率の高い主力サービス「アドエビス」の減収や、商流プラットフォーム事業の利益率が低下し前年同期比で減益となったこと等により、売上高2,710,479千円（前年同期比11.5%増）、営業利益261,211千円（前年同期比6.2%減）、経常利益269,986千円（前年同期比4.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益158,392千円（前年同期比3.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

#### （マーケティングプラットフォーム事業）

当事業は、インターネットにおける消費者行動を横断的に測定し、マーケティングに活用するためのクラウドサービスを提供する事業であります。当事業では、中期戦略としてマーケティング・トランスフォーメーション・プラットフォーム戦略（MXP戦略）を掲げ、「アドエビス」を中心とする既存サービスを安定基盤としつつ、新サービスの複数展開により総合マーケティングDX支援企業集団へ進化し、LTV（ライフタイムバリュー）を最大化することを目指しております。提供しているサービスは広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を主力サービスとし、分析レポート自動作成サービス「アドレポ」を提供する広告代理店向けプラットフォームビジネスやインキュベーション領域として新サービス開発にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、主力の「アドエビス」が減収となったもののインキュベーション領域の成長により売上高は前年同期に対して増加いたしました。「アドエビス」につきましては、契約アカウント数の拡大を図るため新たに低単価プランのリリース準備や、Cookieに依存しないコンバージョンAPIによる計測ソリューション「CAPiCO」の開発を行いました。これらについては第4四半期においてリリースを行い、ターゲット拡大によるアカウント数の増加を目指していきます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,216,638千円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は206,407千円（前年同期比0.7%増）となりました。なお、当第3四半期連結累計期間の売上高には、2022年1月31日に連結子会社化したファーエンドテクノロジー株式会社の売上高が含まれております。

#### （商流プラットフォーム事業）

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」及びEC構築からマーケティング支援までのECソリューションを提供する事業であります。「EC-CUBE」はプレミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者から決済手数料収入を得るというエコシステムを構築しております。また、このオープンソース版「EC-CUBE」を用いたEC構築・運用支援領域にも参入し、従来のプラットフォーム開発からEC構築・運用支援までの垂直統合モデルのビジネスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、垂直統合モデルを推進する中で大規模EC構築案件の受託開発にも取り組み、進捗に応じて売上計上を行っておりますが、従来の決済手数料収入と比べて受託開発事業の利益率は相対的に低く、また経営及び開発体制の強化によりコスト増になったこと等により、セグメント営業利益は前年同期に対して減少することとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は499,733千円（前年同期比96.3%増）、セグメント利益は57,379千円（前年同期比16.0%減）と増収・減益となりました。なお、当第3四半期連結累計期間の売上高には、2022年5月31日に連結子会社化した株式会社EC-CUBE Innovations（旧会社名 ボクブロック株式会社）の売上高が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,997,992千円となり、前連結会計年度末に比べ163,944千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が84,384千円増加したことや、EC構築領域の受託開発案件に係る契約資産が98,681千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は1,106,631千円となり、前連結会計年度末に比べ162,984千円減少いたしました。これは主に償却によりのれんが91,668千円減少したことや繰延税金資産が38,073千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,104,624千円となり、前連結会計年度末に比べ960千円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は930,211千円となり、前連結会計年度末に比べ46,841千円増加いたしました。これは主に未払金が59,048千円増加したことによるものであります。

また、固定負債は226,965千円となり、前連結会計年度末に比べ188,885千円減少いたしました。これは主に約定返済により長期借入金が188,885千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,157,176千円となり、前連結会計年度末に比べ142,043千円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,947,448千円となり、前連結会計年度末に比べ143,003千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上158,392千円による利益剰余金の増加及び剰余金の配当43,825千円による利益剰余金の減少等によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.4%（前連結会計年度末は57.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月8日に発表いたしました通期連結業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当該業績予想の修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,320,598	1,404,982
受取手形及び売掛金	411,316	381,412
契約資産	—	98,681
前払費用	97,917	98,629
その他	6,243	16,435
貸倒引当金	△2,026	△2,149
流動資産合計	1,834,048	1,997,992
固定資産		
有形固定資産		
建物	71,305	71,305
減価償却累計額	△48,645	△50,705
建物(純額)	22,660	20,600
工具、器具及び備品	237,725	249,542
減価償却累計額	△195,557	△208,566
工具、器具及び備品(純額)	42,167	40,976
有形固定資産合計	64,827	61,576
無形固定資産		
のれん	484,049	392,380
ソフトウェア	408,502	391,398
ソフトウェア仮勘定	23,471	28,613
その他	17,275	15,903
無形固定資産合計	933,298	828,296
投資その他の資産		
投資有価証券	53,404	53,389
長期前払費用	31,887	27,670
繰延税金資産	95,029	56,956
差入保証金	81,381	77,733
その他	13,262	4,152
貸倒引当金	△3,476	△3,143
投資その他の資産合計	271,489	216,758
固定資産合計	1,269,616	1,106,631
資産合計	3,103,664	3,104,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,055	28,938
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	239,885	236,404
未払金	205,964	265,013
未払法人税等	34,920	12,534
預り金	40,171	50,992
契約負債	60,821	66,763
賞与引当金	37,551	19,242
受注工事損失引当金	—	310
その他	—	11
流動負債合計	883,369	930,211
固定負債		
長期借入金	394,188	205,303
資産除去債務	21,662	21,662
固定負債合計	415,850	226,965
負債合計	1,299,219	1,157,176
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	418,063	411,175
利益剰余金	1,137,906	1,248,599
自己株式	△120,795	△95,402
株主資本合計	1,753,239	1,882,438
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	20,286	23,237
その他の包括利益累計額合計	20,286	23,237
非支配株主持分	30,919	41,773
純資産合計	1,804,444	1,947,448
負債純資産合計	3,103,664	3,104,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,431,066	2,710,479
売上原価	781,129	1,057,019
売上総利益	1,649,936	1,653,459
販売費及び一般管理費	1,371,504	1,392,248
営業利益	278,431	261,211
営業外収益		
受取利息及び配当金	212	2,540
投資有価証券評価益	6,856	—
持分法による投資利益	1,694	2,246
保険解約返戻金	—	8,341
助成金収入	2,070	948
その他	1,109	870
営業外収益合計	11,943	14,947
営業外費用		
支払利息	4,189	3,126
為替差損	2,302	—
投資有価証券評価損	—	2,260
その他	574	785
営業外費用合計	7,066	6,172
経常利益	283,308	269,986
特別損失		
減損損失	—	4,458
特別損失合計	—	4,458
税金等調整前四半期純利益	283,308	265,528
法人税、住民税及び事業税	78,930	56,956
法人税等調整額	32,499	38,073
法人税等合計	111,429	95,030
四半期純利益	171,879	170,498
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,070	12,106
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,808	158,392

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	171,879	170,498
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14,964	2,950
その他の包括利益合計	14,964	2,950
四半期包括利益	186,843	173,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,773	161,343
非支配株主に係る四半期包括利益	8,070	12,106

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年1月20日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式を23,600株処分いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が6,887千円、利益剰余金が3,874千円減少し、自己株式が25,393千円減少しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。時価算定会計基準適用指針は、投資信託の時価の算定及び注記に関する取扱い並びに貸借対照表に持分相当額を純額で計上する組合等への出資の時価の注記に関する取扱いを定めたものであります。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,178,060	253,006	2,431,066	—	2,431,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,550	1,550	△1,550	—
計	2,178,060	254,556	2,432,616	△1,550	2,431,066
セグメント利益	204,915	68,341	273,257	5,174	278,431

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去9,261千円、パーチェス法による調整額△3,000千円及びのれん償却費△1,086千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「マーケティングプラットフォーム事業」セグメントにおいて、2022年1月31日付でファーエンドテクノロジー株式会社の株式を取得して子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては70,607千円であります。

「商流プラットフォーム事業」セグメントにおいて、2022年5月31日付で株式会社EC-CUBE Innovations(旧会社名 ボクブロック株式会社)の株式を取得して子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては64,082千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,215,406	495,073	2,710,479	—	2,710,479
その他の利益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,215,406	495,073	2,710,479	—	2,710,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,232	4,660	5,892	△5,892	—
計	2,216,638	499,733	2,716,371	△5,892	2,710,479
セグメント利益	206,407	57,379	263,786	△2,575	261,211

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去7,200千円及びのれん償却額△9,775千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。